

# 漆原朝子 (ヴァイオリン) & ベリー・スナイダー (ピアノ)

Asako Urushihara, Violine & Barry Snyder, Klavier

2018年12月 日本ツアー

孤独の中より生み出された真挚で高貴な、そして純粹な魂の結晶。

“世界的シューマン研究の権威 Dr. Mayeda, 前田昭雄博士 (ウィーン大学名誉教授)も賞賛!”

2002年以来 折に触れて取り上げられ、その度に絶賛を博してきた漆原朝子&ベリー・スナイダーのシューマン・プロジェクト。

## シューマン：ヴァイオリン・ソナタ全3曲&3つのロマンス

Robert Schumann: Drei Violinsonaten und Drei Romanzen

- I. ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 op.105 III. ヴァイオリンとピアノのための「3つのロマンス」 op.94  
II. ヴァイオリン・ソナタ 第3番 イ短調 遺作 IV. ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ短調 op.121

〈その他のプログラム〉

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ニ長調 op.12, ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 op.96

クララ・シューマン：「3つのロマンス」 op.22 または ロベルト・シューマン：「3つのロマンス」 op.94

ロベルト・シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ短調 op.121



### 漆原 朝子 (ヴァイオリン) Asako Urushihara, Violin

東京藝術大学付属高等学校在学中に日本国際音楽コンクールにおいて最年少優勝。

ジュリアード音楽院卒業。88年N響定期公演デビュー、ニューヨークでもリサイタル・デビューでも絶賛を博す。その後はマールボロ音楽祭でR・ゼルキンに指名されて共演したほか、ザルツブルク音楽祭などにも登場し、内外のオーケストラとの共演も数多い。

2003年以後 シューマンとブラームスのヴァイオリンソナタ全曲ライブCDを相次いでリリースして極めて高い評価を得る。06年にはシューマン没後150周年を記念してヴァイオリンソナタ全曲演奏に加えて、大阪センチュリー響(現 日本センチュリー響)と遺作のヴァイオリン協奏曲を演奏し注目と賞賛を得る。2008~09年にはベリー・スナイダー、ロータス・カルテットと共に『シューベルト：ヴァイオリン作品全集』をレコーディング。ベリー・スナイダーとは20年以上にわたってデュオを組んでおり、2009年にオール・シューベルト、

2010年には生誕200周年記念 シューマン・プログラムなどテーマ性をもったリサイタルツアーをその後2013年、2015年にも行っている。また、2012~13年には東京と大阪でベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ全曲ツィクルス(ピアノ=鈴木慎崇)を行い、聴衆にひときわ深い感銘を与えた。

近年では、ライフワークの一つでもある大作 エルガー：ヴァイオリン協奏曲を、指揮者 ジョセフ・ウォルフと共に2013年 広響定期で演奏したのを皮切りに、その後 2015年 群響定期・東毛定期、2017年 兵庫芸術文化センター管弦楽団定期(三公演)でも共演を続けており、毎回絶賛を博している。

姉 漆原啓子との共演で、平成26年度 文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。

現在、東京藝術大学教授 大阪音楽大学特任教授。

### ベリー・スナイダー (ピアノ) Barry Snyder, Piano

1966年、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて3つの賞を受賞し、注目を集める。

以後、レコーディング活動を積極的に行うと同時に、世界の主要都市で数多くのコンサートを行っている。ソリストとL.ストコフスキー、D.ジンマン、C.デュトワ等の指揮による、デトロイト響、ワシントン・ナショナル響、ヒューストン響、アトランタ響等と協演。また室内楽奏者としての評価も高いほか、現代音楽にも意欲的に取り組み、

V.レイノルズの“Florilegium. Vols.I&II 一ソロピアノのための”、“ピアノと管弦楽のための協奏曲”、C.パンの“ベリー・スナイダーのための即興曲”といった曲を献曲されている。1970年よりイーストマン音楽院ピアノ科教授を務めた。また、国際的ジャズ・ピアニストとして著名な小曽根 真にオーセンテックなクラシック奏法を伝授した師でもある。

お問い合わせ/コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL▶<http://www.kojimacm.com> E-mail▶[kojimacm@ops.dti.ne.jp](mailto:kojimacm@ops.dti.ne.jp)

# 漆原朝子のブラームス

「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 完全全曲演奏会」

日本経済新聞 平成16年6月14日(月)夕刊 音楽評論家 小石 忠男

一昨年、シューマンのソナタ全曲で好評を博した漆原朝子が、今回はブラームス「ヴァイオリン・ソナタ全曲」に挑戦(三日、神戸新聞松方ホール)した。ピアノは前回と同じベリー・スナイダー。ソナタ三曲と「スケルツォ」を弾いたが、各作品の特色を鮮明に弾き分け、前回よりもさらに強い感銘をあたえた。

## 四弦のみごとに揃った音

技術的にも一段と洗練され、ヴァイオリンは四弦のみごとに揃(そろ)った音が美しい。しかも第一番ではゆとりのあるテンポをとり、清潔・平明な音楽を歌った。

ピアノもまったく虚飾のない音と表情で、柔軟な弦と対話したが、たとえば第一楽章の終結部では二人ともに加勢し、引き締まった造形の説得力が凄(すこ)い。第二楽章の重音も明々



観客に洗練された音色で魅了(撮影・河崎 宏介)

と歌い、音楽的な器量が大さき。

第二番は三曲中もっとも明らかな曲趣だが、ゆるれるリズムがこまやかなニュアンスをあらわし、そのため第一

・Eソナタのスケルツォ」が演奏された。はつらつとした音楽である。しかし、それよりも最後の第三番が当夜の圧巻となった。

ヴィブラートの処理も巧妙で、全体の構築にスケールの大きなドラマが現された。二人の演奏者の息づまるような緊張と情熱の燃焼も、聴き手を離さない。とくに後半の二つの楽章の的確な高揚

二楽章の甘美な旋律線は、もう魅惑的としかしいようがない。青春の叙情を回想させる至福の時である。途中の急速な部分では、さらに切れのよさが欲しいが、終楽章とのバランスはよい。

休憩後は、まず「F・A

と、旋律の意味深さは感動的である。

漆原はブラームスの複雑で晦渋(かいじゆう)な趣を直感的にとらえ、一挺(ちやう)の楽器とは思えぬ交響的な響きで、その神髄に迫った。音構造も明快に整理されていたが、いま彼女は自信にみちた境地に到達したようである。

## 漆原朝子がブラームス・ソナタ

### 2015年 日本ツアー公演記録

#### 7/5 町田・アートスペースオー

- ◆エルガー：ヴァイオリン・ソナタ 短調 op.82
- ◆ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
- ◆R.シュトラウス(ヴァーシャ・ブジーホダ編曲)：『ばらの騎士』第3幕よりワルツ
- ◆R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/6 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館

- ◆ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
- ◆R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/7 藤沢・鶴沼サロンコンサート

プログラム：7/5 町田公演と同一

#### 7/8 名古屋・宗次ホール

- ◆エルガー：朝の歌、ラ・カプリチエーズ
- ◆エルガー：ヴァイオリン・ソナタ 短調 op.82
- ◆R.シュトラウス：『ばらの騎士』第3幕よりワルツ
- ◆R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/9 札幌・六花亭 ふきのとうホール

プログラム：7/12 東京公演と同一

#### 7/11 福岡・宗像ユリックス

プログラム：7/5 町田公演と同一

#### 7/12 東京文化会館 小ホール

- ◆シューベルト：ヴァイオリンとピアノのためのソナタニネ 第2番 イ短調 D385
- ◆ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
- ◆R.シュトラウス(ヴァーシャ・ブジーホダ編曲)：楽劇『ばらの騎士』より「ワルツ」
- ◆R.シュトラウス：ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/14・15・16 鳥取県立倉吉未来中心小ホール

- レコーディング
- ◆エルガー：『ため息』op.70、ヴァイオリンソナタ 短調 op.82
- ◆R.シュトラウス：ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 op.18、『ばらの騎士』よりワルツ

#### 7/17 米子市文化ホール

プログラム：7/12 東京公演と同一

#### 7/18 岸和田・カフェのだて

- ◆エルガー：『ため息』op.70
- ◆シューベルト：ヴァイオリンとピアノのためのソナタニネ 第2番 イ短調 D385
- ◆クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ
- ◆ブラームス：ヴァイオリンソナタ 第2番 イ長調 op.100

#### 7/19 岸和田・むくの木ホール

プログラム：7/8 名古屋公演と同一

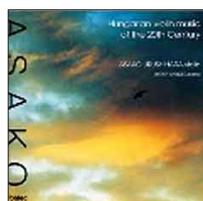
#### 7/20 京都府立府民ホール アルティ

プログラム：7/12 東京公演と同一

## 漆原朝子&ベリー・スナイダー ディスコグラフィ



アヴェ・マリア (fanhouse-1995)



ハンガリー・ヴァイオリン音楽の20世紀 (fontec-2001)



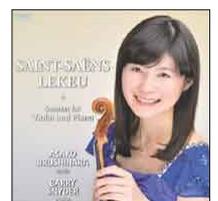
シューマン：ヴァイオリン・ソナタ 全曲 (fontec-2003)



ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ全曲 (fontec-2005)



シューベルト：ヴァイオリン作品集 (fontec-2010) 共演：ロータス・カルテット



サン＝サーンス&ルヴェ (fontec-2015)